

令和5年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第6講座を開催して】

11月17日（金）に、美祢市民会館において、令和5年度美祢市人権教育リーダー講座（第6講座）を開催しました。

講座では、『ヤングケアラーの問題』をテーマに、山口県立大学社会福祉学部 准教授 横山 順一（よこやま じゅんいち）氏から、「ヤングケアラーの理解と支援について考える」と題して御講演いただきました。

御講演では、ヤングケアラーの何が問題であるのかについてわかりやすくお示しいただくとともに、周りにいる大人たちが気づくことの必要性やヤングケアラー本人の思いを尊重した支援の重要性について教えていただきました。

受講者は本講座をとおして、子どもたち一人ひとりの人権が尊重され、健やかに成長できる社会を創造することの大切さについて、改めて学ぶことができました。

ライブ上映受講者を含めて100名近くにのぼった参加者は、この度の講座をとおして、ヤングケアラーの実際について多くのことを学ぶことができました。子どもを含む若年者が、将来に希望をもち、健やかに生活できるかどうかは、私たち大人にかかっています。その自覚と責任をもち、子どもや若者と注意深く接していきたいと思えます。

【受講者の主な感想】

- ・分かりやすい内容でいい研修になった。これからの社会の中でしっかり意識していかなければいけない課題である事を再確認出来ました。
- ・ヤングケアラーのことについて、きちんと学ぶことができました。
- ・今まで言葉は知っていたが詳しく知らなかったので講座が聞いて良かった。思ったよりたくさんヤングケアラーがいるのだと知り驚いた。
- ・ヤングケアラーについて、詳しく学ぶことができました。仕事をする中で、ヤングケアラ



ーに関する視点を持っていきたいと思います。

- ヤングケアラーの問題解決のため、ヤングケアラーの早期発見に向けた学校の役割の重要性を改めて実感しました。子どもたちの様子を見る際に、ヤングケアラーの問題を抱えているかもしれないという視点をもっていきたいと思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ヤングケアラーについて、子どもや保護者に伝えていくことは大切だと思いますがなかなか難しいと思います。
- まだ始まったばかりだという印象です。高齢化社会に向けて、早めの対策が必要なことが分かりました。
- 子どもから相談を待つのではなく、こちらから気付き声をかけていく必要性を改めて感じました。
- 協力(手伝い)とケアラーの違いが分かった。
- 新しい知識を得ることができ、とても勉強になった。
- ヤングケアラーという言葉の経緯や求められている支援についてはよく解ったが、もう少し、事例などの具体的内容が欲しかった。
- 大人向けでしたが、子どもへの周知の方が大事では？ 学校現場で役立つ内容で、すぐに実践できることも多く、参考になりました。ヤングケアラーだけでなく悩みを持つ子どもたちに寄り添う姿勢を学ぶことができました。
- ヤングケアラーの実態、周りの行動などもっと詳しく聞きたかったです。知ることが出来てよかったのですが、誰にでも出来る事、急速に動かないと助けられないのではないかなと思いました。
- 支援する際に気をつけなければならない事など、具体的にお話いただき、参考になりました。
- 本当に他人事ではなく、日本の今抱えている大きな問題であり、真剣に向き合っていかななくてはいけないと思いました。